

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月5日

上場会社名 株式会社 ゴルフ・ドゥ
 コード番号 3032 URL <http://www.golfdo.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊東 龍也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 大井 康生
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 ー

上場取引所 名

TEL 048-851-3111

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	2,547	13.3	39	—	35	—	36	—
21年3月期第3四半期	2,249	—	△97	—	△97	—	△146	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	2,933.72	—
21年3月期第3四半期	△11,438.37	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第3四半期	1,797	45,416.94	561	45,416.94	31.3	45,416.94
21年3月期	1,785	42,483.22	525	42,483.22	29.4	42,483.22

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 561百万円 21年3月期 525百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	2.6	50	—	37	—	28	—	2,262.80

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	13,083株	21年3月期	13,083株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	709株	21年3月期	709株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	12,374株	21年3月期第3四半期	12,816株

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことはお差し控えてください。なお、業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日）におけるわが国経済は、平成20年秋以降の世界的な景況悪化による企業業績の低迷が続く中、企業収益は幾分緩やかに回復の兆しを見せたものの一時的なものとなり、デフレ進行や雇用情勢の悪化等により年末商戦においても個人消費の低迷は続いており、景気の回復基調を迎えることなく推移してまいりました。

ゴルフ業界におきましても、消費者の先行きの不安感からゴルフ用品の買い控え、販売価格の早期下落などが顕著に現れ、経営環境は厳しい状況が続いております。しかしながら、石川遼プロが最終戦まで池田勇太プロと競い最年少賞金王となり、横峯さくらプロも諸見里しのぶプロと競い初の女子プロ賞金王になるなど、華やかな話題が業界全体を盛り上げ、女性層や若年層を中心にゴルフへの関心は、ますます高まっており、プレー人口も堅調に推移しております。経済産業省の「特定サービス産業動態調査」においてもゴルフ場／練習場の入場者数が足元の平成21年11月には前年同月比97.4%/100.5%となっております。

このような状況のもと、当社では第2四半期に引き続き、事業全体の収益性向上を目指し、店舗運営オペレーションの見直しを行い、在庫の適正化等による粗利益率の改善及び経費削減に努めてまいりました。

ゴルフ・ドゥ！店舗につきましては、フランチャイズ事業で愛媛県松山市に大型店舗「松山朝生田店」を当第3四半期に出店、他にリニューアル増床を「美里店（沖縄県）」「山口防府店」の2店舗が行いました。その結果、平成21年12月末日現在の営業店舗数は全国で合計77店舗となっております。なお、「ゴルフ・ドゥ！オンラインショップ」では、ショップ会員が約7.8万人に達し売上も順調に伸びております。

当第3四半期において直営事業では、直営全店で「人気モデルの定額買取キャンペーン」「モバイル会員do-mo（ドーマ）新規獲得キャンペーン」など様々な企画により、顧客層の囲い込みに取り組み、競合他社との競争が激化する中、集客力アップによる活性化と売上増を図るため積極的に努力した結果、既存店が好調な売上を示し、当第3四半期も第2四半期に引き続き、前年同期売上高をクリアしました。しかしながら、好調な既存店に対して一部新規店舗の業績低迷が未だ回復せず、売上高は堅調に推移したものの営業利益面では依然、厳しい状況が続いております。

平成22年3月期第1四半期及び第2四半期に係る経営成績に関する定性的情報については、平成22年3月期第1四半期決算短信（平成21年8月7日開示）及び第2四半期決算短信（平成21年11月6日開示）をご参照下さい。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は25億47百万円（前年同期比13.3%増）、営業利益が39百万円（前年同期 営業損失97百万円）、四半期純利益は36百万円（前年同期四半期純損失1億46百万円）となりました。

これを事業部門別で見ますと、直営事業売上高は21億26百万円（前年同期比18.7%増）となりましたが、フランチャイズ事業の売上高は4億21百万円（前年同期比8.1%減）となっております。

なお、店舗月次データ（売上高前年比）は以下のとおりであります。

月	上半期 平均	平成21年 10月	平成21年 11月	平成21年 12月	第3四半期 平均
チェーン全店	105.0%	111.8%	105.4%	103.5%	106.8%
チェーン既存店	100.4%	109.7%	103.9%	101.6%	105.0%
直営全店	119.6%	119.1%	102.7%	104.6%	108.8%
直営既存店	111.1%	118.2%	101.6%	100.8%	106.9%
F C全店	99.8%	108.8%	106.5%	103.0%	106.1%
F C既存店	97.2%	106.5%	104.8%	101.8%	104.4%

損益面では、売上総利益は粗利益率が38.7%（前年同期40.4%）と1.7ポイント低下したものの、前年同期9億9百万円から9億87百万円（前年同期比8.6%増）となりました。また、営業損益は販売費及び一般管理費を節約した結果、前年同期97百万円の営業損失から39百万円の営業利益となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産及びキャッシュ・フローの状況に関する分析

当第3四半期会計期間末における総資産は、17億97百万円（前会計年度末比11百万円増）となりました。その主な要因は、現預金、売掛金の増加及びたな卸資産の減少によるものであります。有利子負債は、前会計年度末比82百万円減の7億71百万円となりました。なお、純資産は5億61百万円となり、自己資本比率は31.3%（前会計年度末29.4%）と1.9ポイント上昇しております。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3億95百万円となり、前会計年度末比2億6百万円増加しました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得た資金は3億19百万円（前年同期2億18百万円の支出）となりました。主なプラス要因は、たな卸資産の減少額1億32百万円と仕入債務の増加1億11百万円であり、主なマイナス要因は、売上債権の増加額56百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は31百万円（前年同期3億1百万円の支出）となりました。主な要因は、直営店の出店による有形固定資産の取得のための支出34百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は82百万円となりました。主な要因は、借入金返済によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年5月15日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

（1）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法で償却している資産に関しては、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定おります。

（2）四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	395,446	189,021
売掛金	119,782	63,752
商品及び製品	558,052	690,037
原材料及び貯蔵品	1,983	2,098
前払費用	29,789	35,441
未収消費税等	—	10,314
その他	2,552	3,720
貸倒引当金	△119	△137
流動資産合計	1,107,487	994,248
固定資産		
有形固定資産		
建物	236,748	236,748
減価償却累計額	△59,979	△43,684
建物(純額)	176,768	193,063
構築物	18,027	18,027
減価償却累計額	△7,001	△5,879
構築物(純額)	11,026	12,148
車両運搬具	4,754	4,754
減価償却累計額	△3,978	△3,644
車両運搬具(純額)	775	1,109
工具、器具及び備品	243,048	239,120
減価償却累計額	△159,278	△126,360
工具、器具及び備品(純額)	83,770	112,759
建設仮勘定	—	3,985
有形固定資産合計	272,341	323,067
無形固定資産		
電話加入権	923	923
ソフトウェア	26,476	32,809
ソフトウェア仮勘定	2,352	—
無形固定資産合計	29,752	33,733
投資その他の資産		
投資有価証券	789	789
長期貸付金	1,567	1,567
長期前払費用	57,076	64,232
敷金及び保証金	156,872	170,020
建設協力金	172,946	199,448
その他	—	4,614
貸倒引当金	△1,567	△6,182
投資その他の資産合計	387,685	434,491
固定資産合計	689,778	791,291
資産合計	1,797,266	1,785,540

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	198,663	87,001
短期借入金	100,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	133,836	100,512
未払金	34,265	74,720
未払費用	45,686	42,284
未払法人税等	8,297	9,732
未払消費税等	30,063	—
預り金	8,470	2,447
賞与引当金	7,805	21,858
ポイント引当金	28,430	21,977
店舗閉鎖損失引当金	—	52,903
その他	—	200
流動負債合計	595,517	613,637
固定負債		
長期借入金	537,295	552,664
退職給付引当金	52,164	43,751
長期預り保証金	50,300	49,800
固定負債合計	639,759	646,215
負債合計	1,235,276	1,259,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,765	500,765
資本剰余金	177,817	177,817
利益剰余金	△92,968	△129,270
自己株式	△23,625	△23,625
株主資本合計	561,989	525,687
純資産合計	561,989	525,687
負債純資産合計	1,797,266	1,785,540

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	2,249,088	2,547,766
売上原価	1,339,707	1,560,104
売上総利益	909,380	987,662
販売費及び一般管理費	1,006,492	948,014
営業利益又は営業損失(△)	△97,112	39,648
営業外収益		
受取利息	2,060	2,879
受取手数料	2,135	2,049
雑収入	1,198	2,692
営業外収益合計	5,394	7,620
営業外費用		
支払利息	5,008	11,407
雑損失	871	693
営業外費用合計	5,880	12,100
経常利益又は経常損失(△)	△97,598	35,168
特別利益		
貸倒引当金戻入額	742	17
賞与引当金戻入額	—	6,677
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	3,789
特別利益合計	742	10,485
特別損失		
固定資産除却損	28	104
たな卸資産評価損	3,371	—
合意解約精算金	—	2,500
過年度損益修正損	2,069	—
その他	3,699	—
特別損失合計	9,168	2,604
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△106,024	43,048
法人税、住民税及び事業税	6,020	6,746
法人税等調整額	34,549	—
法人税等合計	40,569	6,746
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△146,594	36,301

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△106,024	43,048
減価償却費	53,317	61,530
長期前払費用償却額	504	1,521
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△742	△4,632
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,060	8,413
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,166	△14,053
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	8,853	6,453
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△52,903
受取利息及び受取配当金	△2,060	△2,879
支払利息	5,008	11,407
有形固定資産除却損	28	104
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△7,217	4,251
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,264	△56,030
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△193,105	132,100
その他の資産の増減額 (△は増加)	△9,963	43,526
仕入債務の増減額 (△は減少)	24,578	111,661
未払金の増減額 (△は減少)	931	△6,043
未払費用の増減額 (△は減少)	13,194	3,402
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△6,774	39,015
その他の負債の増減額 (△は減少)	10,330	7,380
預り保証金の増減額 (△は減少)	1,500	500
小計	△206,011	337,774
利息及び配当金の受取額	2,038	2,872
利息の支払額	△6,066	△11,163
法人税等の支払額	△8,629	△9,732
営業活動によるキャッシュ・フロー	△218,669	319,749
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△168,514	△34,890
無形固定資産の取得による支出	△13,036	△5,087
貸付金の回収による収入	742	392
敷金及び保証金の回収による収入	4,500	1,016
敷金及び保証金の差入による支出	△39,483	△69
建設協力金の回収による収入	4,778	7,358
建設協力金の支払による支出	△50,142	—
店舗賃借仮勘定拠出による支出	△40,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△301,157	△31,278
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	—
短期借入金の返済による支出	—	△100,000
長期借入れによる収入	600,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△23,366	△82,045
自己株式の取得による支出	△23,999	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	752,634	△82,045
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	232,807	206,425
現金及び現金同等物の期首残高	99,598	189,021
現金及び現金同等物の四半期末残高	332,406	395,446

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。